

## 皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

海の森化粧品が持つ「自然の恵みが持つ力」：  
モノテルペンアルコールが特定の細菌に対して選択的に作用する

森の草や木から発散される植物成分に含まれるモノテルペンアルコール(天然エタノール)は、すべての菌を殺すわけではありません。善玉菌(例:表皮ブドウ球菌)を生かし、その善玉菌の力で悪玉菌(例:黄色ブドウ球菌)の増殖を抑えます。これはまさに自然の恵みであり、その力は本当に驚くべきものです。モノテルペンアルコールを含む化粧品は、皮膚に存在する善玉菌と悪玉菌のバランスを整え、皮膚トラブルを防ぎ、健康な状態を保つ働きがあります。

一方、化学薬剤のエタノールやアルコール、抗菌剤・防腐剤は、皮膚の善玉菌と悪玉菌を区別なく殺す、あるいは善玉菌に悪影響を与えます。化学薬剤のエタノールやアルコール、抗菌剤・防腐剤を含む化粧品は、皮膚にトラブルを引き起こす悪玉菌を抑える効果がありますが、善玉菌に悪影響を与え、場合によっては殺します。これにより、皮膚の細菌バランスが崩れ、健康な状態を保つのが難しくなります。

皮膚には、このように善玉菌と悪玉菌が存在します。善玉菌は皮膚を守り、健康を保つ役割を果たします。特に重要なのが、表皮ブドウ球菌(美肌菌)です。この菌は皮脂や汗をエサにして、以下のような重要な物質を生成します：

1. 不飽和脂肪酸: 皮膚を弱酸性に保ち、悪玉菌(例:黄色ブドウ球菌)の増殖を抑え、皮膚トラブルを防ぎ、健康な肌状態を保つために重要です。
2. グリセリン: 天然の保湿成分で、一時的な保湿効果を発揮します。これにより、皮膚の乾燥防止をサポートします。
3. 抗菌ペプチド: 悪玉菌の細胞膜を攻撃して殺菌作用を発揮します。これにより、皮膚トラブルを防ぎ、健康な状態をサポートします。